

# バーサライタ誘導棒(加速度センサー式)取扱説明書

バーサライタ誘導棒をご採用頂きありがとうございます。  
最初に本書をお読み頂き正しくお使い頂きます様お願いいたします。

## 特徴

左右に振るだけで誰でも簡単に『**とまれ**』の文字を空間に表示することができ、スイッチ切替により通常の全面点滅式の誘導棒としても使用可能です。  
加速度センサーの採用により従来型と比べてコツを必要とせず、より簡単に表示させることができます。

## 使用方法

### 準備

単2型電池2本を+を上にして電池ホルダーに入れ、本体にしっかりと取付けます。  
電池ホルダーの締め付けが弱いと、振ったときに瞬間的に接触不良を起こし、初期状態に戻る事があるのでしっかりと締め付けてください。

### スイッチ操作

1つのボタンスイッチですべての操作を行い、操作方法は下記のとおりです。

電源OFF → 全面点滅 → 文字表示



状態	短く1回押す	5秒間以上押す
電源OFF時	全面点滅の状態でもONする	全面点滅の状態でもONする
全面点滅時	文字表示状態に切り替わる	電源がOFFする
文字表示時	全面点滅状態に切り替わる	電源がOFFする

### 『とまれ』を表示させる

- ボタンスイッチを手前にして持ち、向こう側(見る人側)にLED発光面を向けます。
- ボタンスイッチを押し、文字表示の状態に切替えます。
- 左右に90~120° くらいの範囲で1往復2秒前後の感覚で振ります。
- 向こう側(見る人側)のLED発光面に『**とまれ**』の文字が表示されます。

### 文字をきれいに表示させるには

本製品で正しく『**とまれ**』を表示させるためには本機の原理や特徴を十分にご理解頂き正しくお使いください。

## 表示原理

本機の原理は見ている人から見て左から右へ移動しながらLEDが順次発光すること、で人の目の残像効果により『**とまれ**』の文字として見えます。  
このように表示させるためには最初の1往復の時間を計測し、その結果を計算して次の1往復の割り振りタイミングを決めて順次表示させます。  
つまり現在表示しているタイミングは前回振った時の計測データを元に計算されたもので、このように1回振るたびにデータを学習して次々に反映させて表示します。

## 自動電源OFF機能

本体に内蔵されているセンサーが5分以上動作を感知しない場合と、ボタン操作が5分以上無い場合には自動的に電源を切る機能を持っています。  
再度電源を入れる場合はボタンスイッチを1回短く押すと全面点滅の状態でもONします。  
(注意) 静かに本機を動かした場合はセンサーが動きを感知しない事があり、時間が経過して自動的に電源がOFFする場合があります。

## 振り方

加速度センサーで折り返し点が検出できるため、**安定した振り方(振幅、時間)**をすることできれいに表示させることができます。  
極端に短い時間、長い時間、小さい角度、大きい角度、ムラのある振り方などをした場合は、表示される文字が変形したり全く表示されないことがあります。  
暗い場所で鏡やガラスに映して練習をし、コツをつかむことで誰でも簡単にきれいな文字を表示できます。

## 注意事項

振り始めて最初の1~2往復は振幅時間を計測するために正しい文字が表示されず2~3往復目から表示しますが異常ではありません。  
振り始めに鏡文字のように反転した文字を表示することがありますが、振り方が安定しないために発生するもので故障ではありません。  
長時間使用しないときは液漏れなど故障の原因となりますので電池をはずして保管してください。